



いちのみや

一宮小学校だより 学校評価特集号

一宮町立一宮小学校

〒299-4301 一宮町一宮 3351

Tel:0475-42-2026

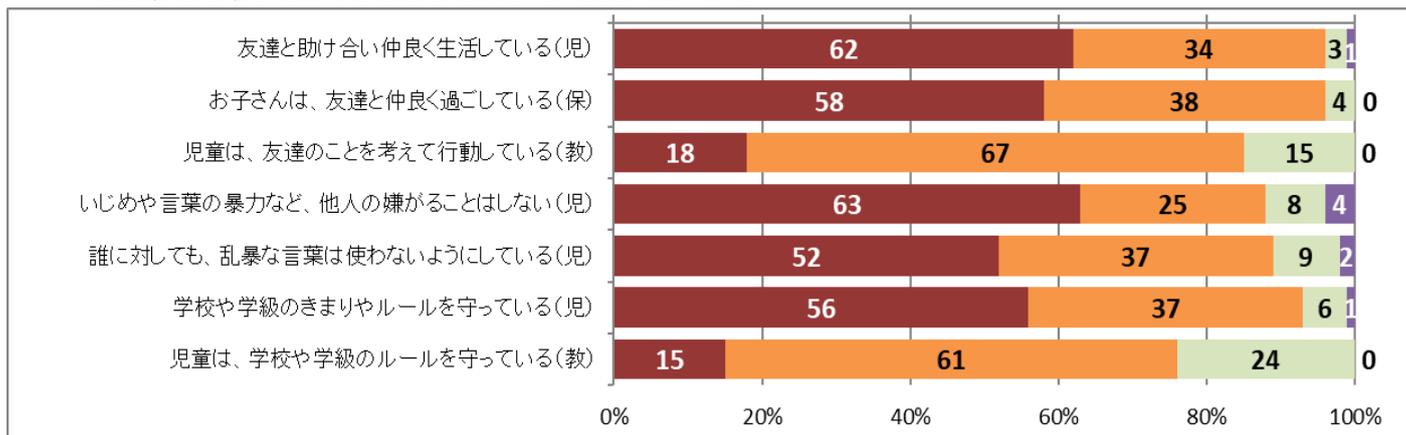
文責 校長 永野 真仁

昨年末に、本校の教育活動に関するアンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。集計結果及び考察について、一部お知らせいたします。なお、後日、本校ホームページに詳細を掲載しますので、併せてご覧ください。アンケート結果につきましては、来年度の学校運営や教育活動の参考にさせていただきます。今後とも、本校の教育活動にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校の目指す児童像について

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

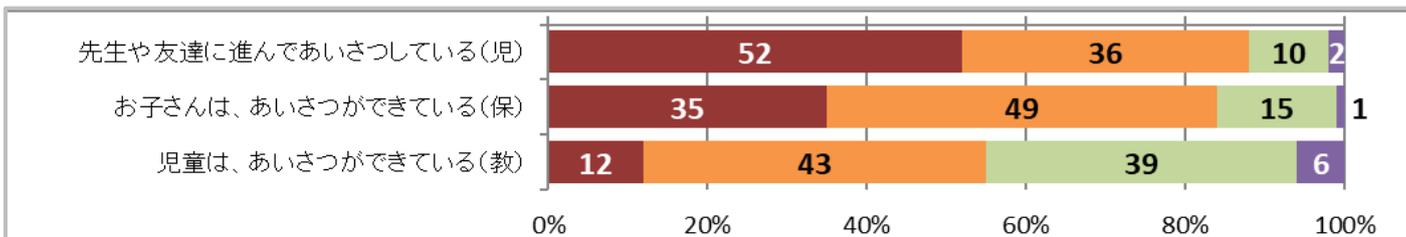
1 「きまりを守りやさしくできる子ども」(笑顔) について



学校生活の中では、人と関わり合いながら取り組む活動が多いこともあり、協力することの必要性については、多くの児童が実感できていると考えられます。しかし、「いじめや言葉の暴力など、他人の嫌がることはしない」、「誰に対しても、乱暴な言葉は使わないようにしている」について、否定的な回答をしている児童が約1割いることは問題視すべき点です。学校では、教育活動全体を通して、個々の児童が相互に認め合い励ましたり、ほめたりできる機会を教育活動の中に多く取り入れています。今後も、豊かな心の育成に力を入れるとともに、児童一人一人が笑顔で過ごせるように、教育相談体制を充実させ、児童理解に努め、いじめのない学校・学級づくりをしていくことに力を入れていきます。

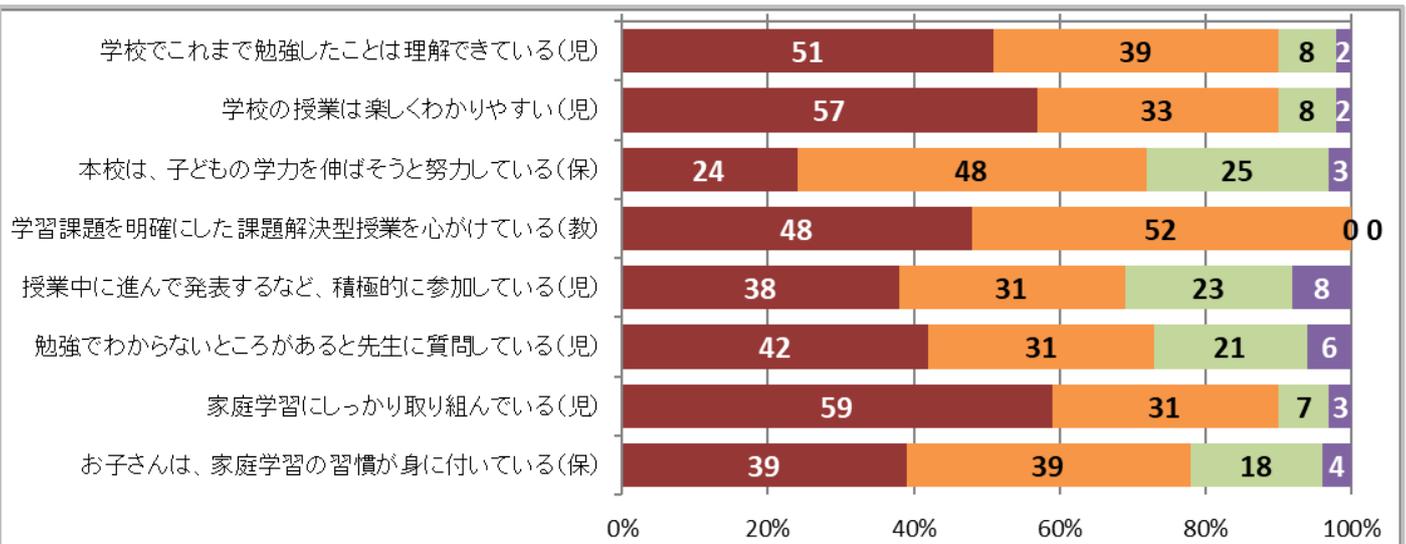
集団生活をしていく中で、きまりは必要不可欠であり、きまりを守ることは、みんなが気持ちよく社会生活を送っていく上での基本になります。「学校や学級のきまりやルールを守っている」については、93%の児童が肯定的な回答をしており、意識の高さがうかがえます。しかし、教職員の肯定的な回答は76%であり、児童の回答との間に開きがあります。これは、児童の評価対象が自分自身であるのに対し、教職員の評価対象は、児童全体であることが要因と考えられます。学校では、自分の思うままに、きまりを守らずに生活することにより、嫌な思いをする者がいるということを繰り返し指導するとともに、きまりを守って生活していることを認め、ほめることのできる集団づくりをしていきます。

2 「進んであいさつができる子ども」(あいさつ) について



「あいさつ」は、よりよい人間関係を構築する上で基本的な行為の一つです。「あいさつ」については、児童の88%が肯定的な回答をしており、これは昨年度と同様でした。一方、保護者の肯定的な回答84%は昨年度より4ポイント増加しており、教職員の肯定的な回答も55%昨年度より10ポイント高い結果でした。学校教育目標に掲げ、重点的に取り組んでいるところです。自分がいさつをしていると言っても、相手に聞こえないと伝わりません。あいさつの仕方について、少し意識するだけでも、相手に伝わる印象が変わります。明るく、相手の目を見て「いつでも どこでも だれにでも」自然な気持ちであいさつできるよう、あいさつの大切さを繰り返し伝えていきます。

3 「いっしょうけんめいに勉強する子ども」(本気)について

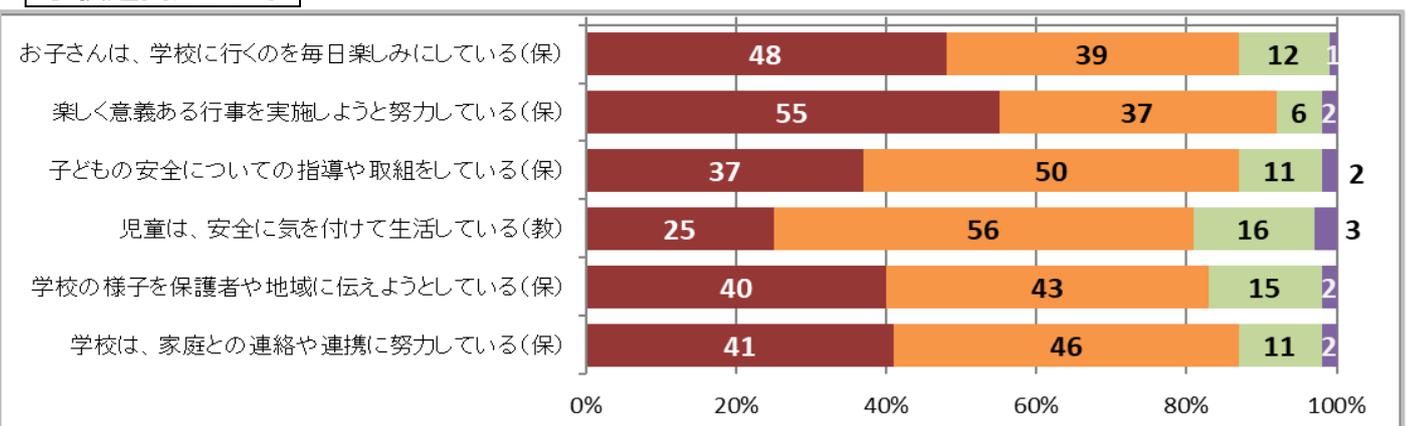


学力向上は児童、保護者とも望んでいることであり、それに向けて学校も努力をしています。9割の児童が学習したことを理解し、授業を楽しいと肯定的に捉えています。反対に1割の児童は否定的な回答となっており、「わからないから、授業がつまらない」と感じているか、「授業がつまらないから、わからない」のどちらかであると考えられます。前者であれば個別指導の充実が必要です。本校では、教員数の関係で限られた時間数になりますが、高学年を中心に算数科においてティームティーチング(TT)による授業を行っています。後者であれば、教員の授業力向上が重要です。今年度、東上総教育事務所から講師を招聘し、授業づくりについての研修会を4回実施しました。児童にとって「わかる授業・楽しい授業」になるよう、教員自らが学ぶのはもちろん、教員同士でも学び合いながら、授業力向上に努めていきます。

授業中の積極的な参加や、わからないところの教員への質問については、児童の肯定的な回答が他の設問と比べると低い傾向にあります。間違えることを恐れずに「発言してよかった」、恥ずかしがらずに「質問してよかった」と、誰もが安心して発言できる学級の雰囲気づくりに努めていきます。

家庭学習については、取組に個人差があります。学習内容の定着のためには、家庭学習は大変重要です。今後も、保護者の方々と連携して指導してまいります。

学校運営について



学校は、児童にとって楽しく過ごせる場であるべきです。このことについては、87%の保護者から肯定的な回答が寄せられました。今後も、学校で行われる様々な教育活動を通し、学校という場が「楽しい」とすべての児童が感じられることを目指し、教育活動のさらなる工夫をするとともに、児童の観察をしっかりと行い、問題には迅速・丁寧に対応してまいります。

安全面での取組については、87%の保護者から肯定的な回答をいただきました。登下校時の街頭交通指導や見守り活動にご協力をいただき、感謝申し上げます。児童の安全確保のため、今後ともよろしくお願ひします。

これからも各種たよりやホームページ、安全・安心メール等で、学校からの情報発信に心がけていきたいと思ひます。ご意見やご要望、疑問に思ふことなどは遠慮なく学校にご相談ください。